
ソーシャル・イノベーションの実現に向けた ETIC.の歩みと挑戦



NPO法人ETIC.

エコシステム・ディベロップメント・マネージャー

(ソーシャルイノベーション事業部、次世代リーダー育成事業部、事業本部 兼任 マネージャー)

加勢 雅善

事業概要

- 約20年間で7,000名以上の若者たちに、「社会をつくる」現場に挑む機会を提供。

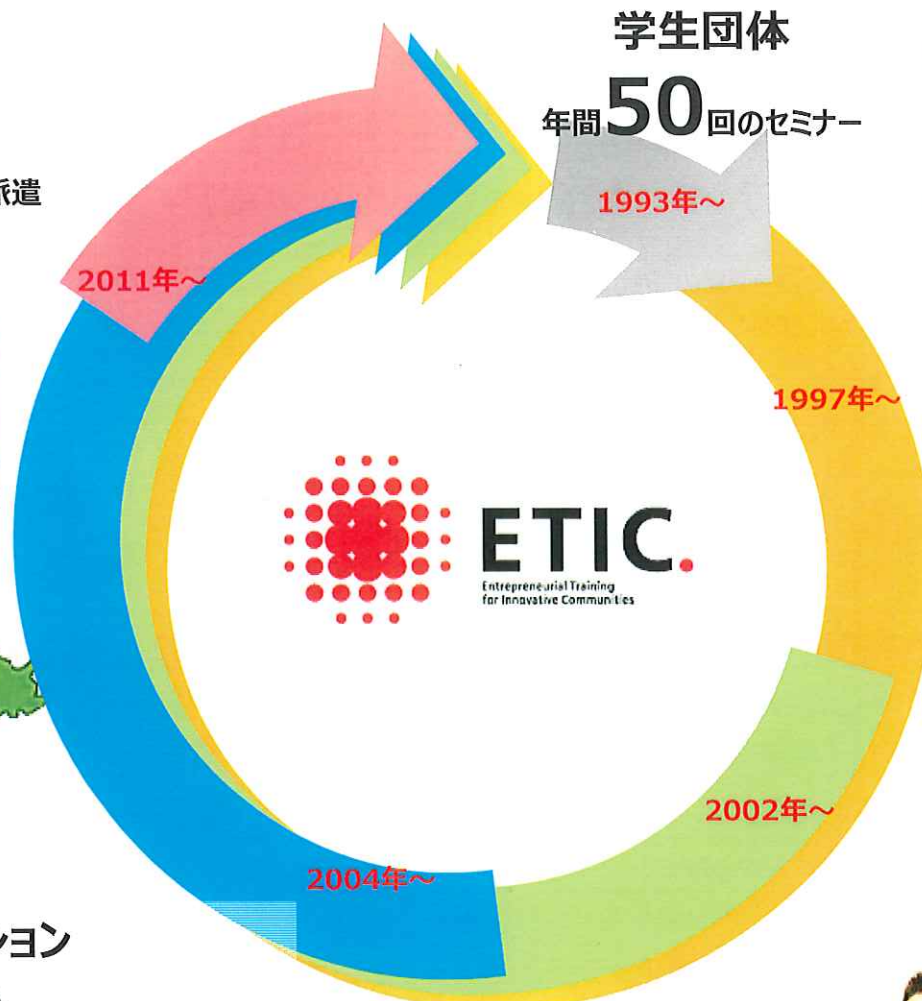
東北復興支援

200名以上のフェローを派遣



ローカルイノベーション

全国50地域 1800社の中小企業、
100大学・7000人の若者



DeNA GaiaX
by working for people to connect

NetAge 楽R天
LIFE CHAIR

mixi CyberAgent

次世代リーダー育成
(長期インターンシップ等)

3000名以上の学生が参加

ソーシャルイノベーション

400名以上の社会起業家を輩出



ソーシャル・イノベーションとは？

定義は？

- 例えば、スタンフォード大学ビジネススクールの定義によると…

□ A social innovation is **a novel solution to a social problem** that is more effective, efficient, sustainable, or just than current solutions.

→ 現在の解決策 << 新しい解決策

→ より効果的・効率的、持続可能、適切

□ The value created accrues primarily **to society rather than to private individuals.**

→ 個人個人というよりは、社会に対して価値がもたらされる

ソーシャルイノベーションが必要な背景

- 社会の変化に、既存の解決策が追いつかなくなっている！
～まさに、個人単位で問題を解決しても、もはや間に合わない！

社会の変化にともなって出現する課題
(例：少子高齢化、税収減、格差拡大等)



既存の延長線上の解決策

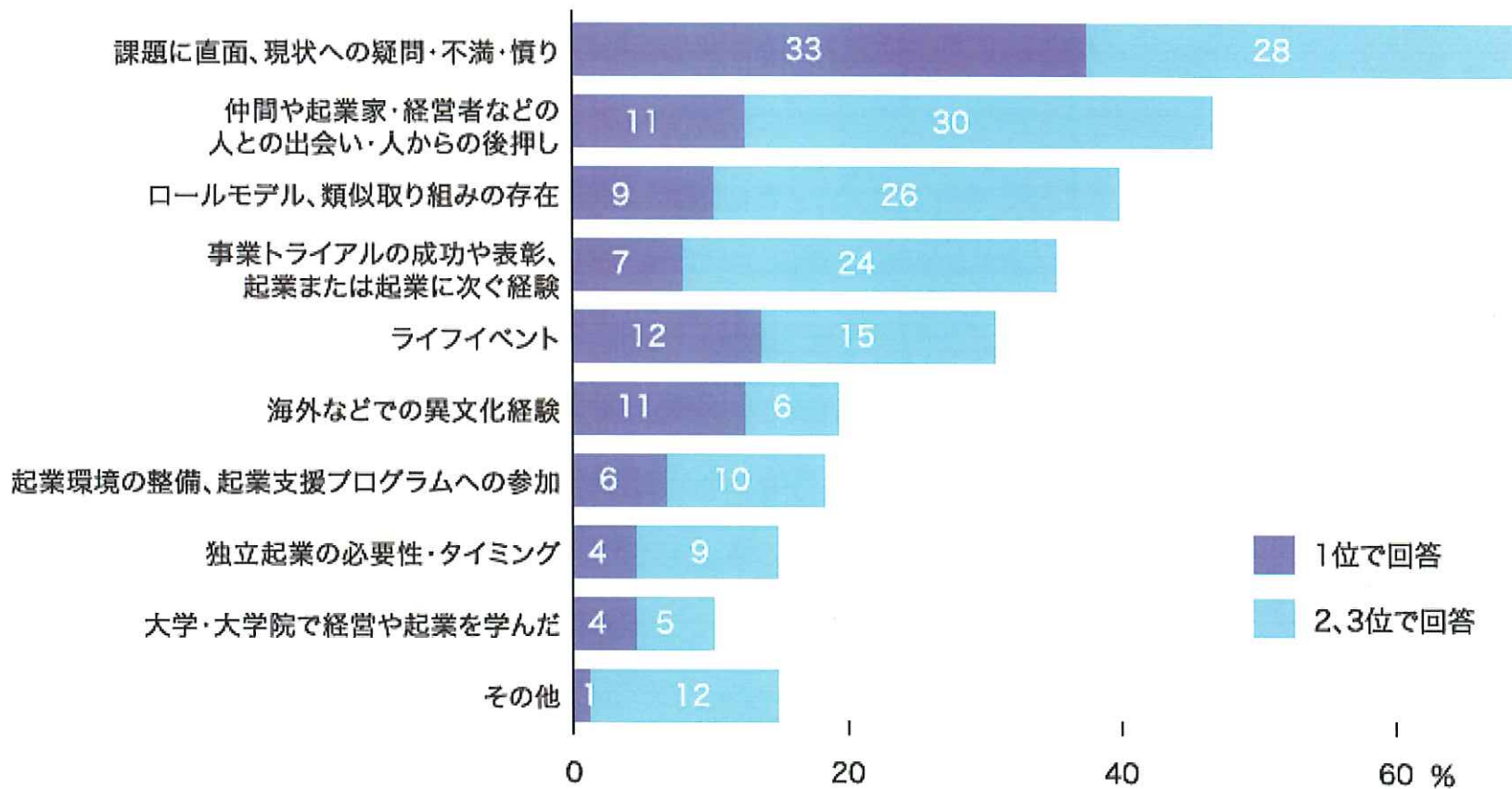
社会起業の増加 ～仕事を通してソーシャル・イノベーションに取り組む

- 社会の変化とともに、そこから生じる問題に仕事を通して取り組みたいと考える人が増加
→ 企業や行政を飛び出して、時には学生時代の活動を継続する形で、チャレンジを開始



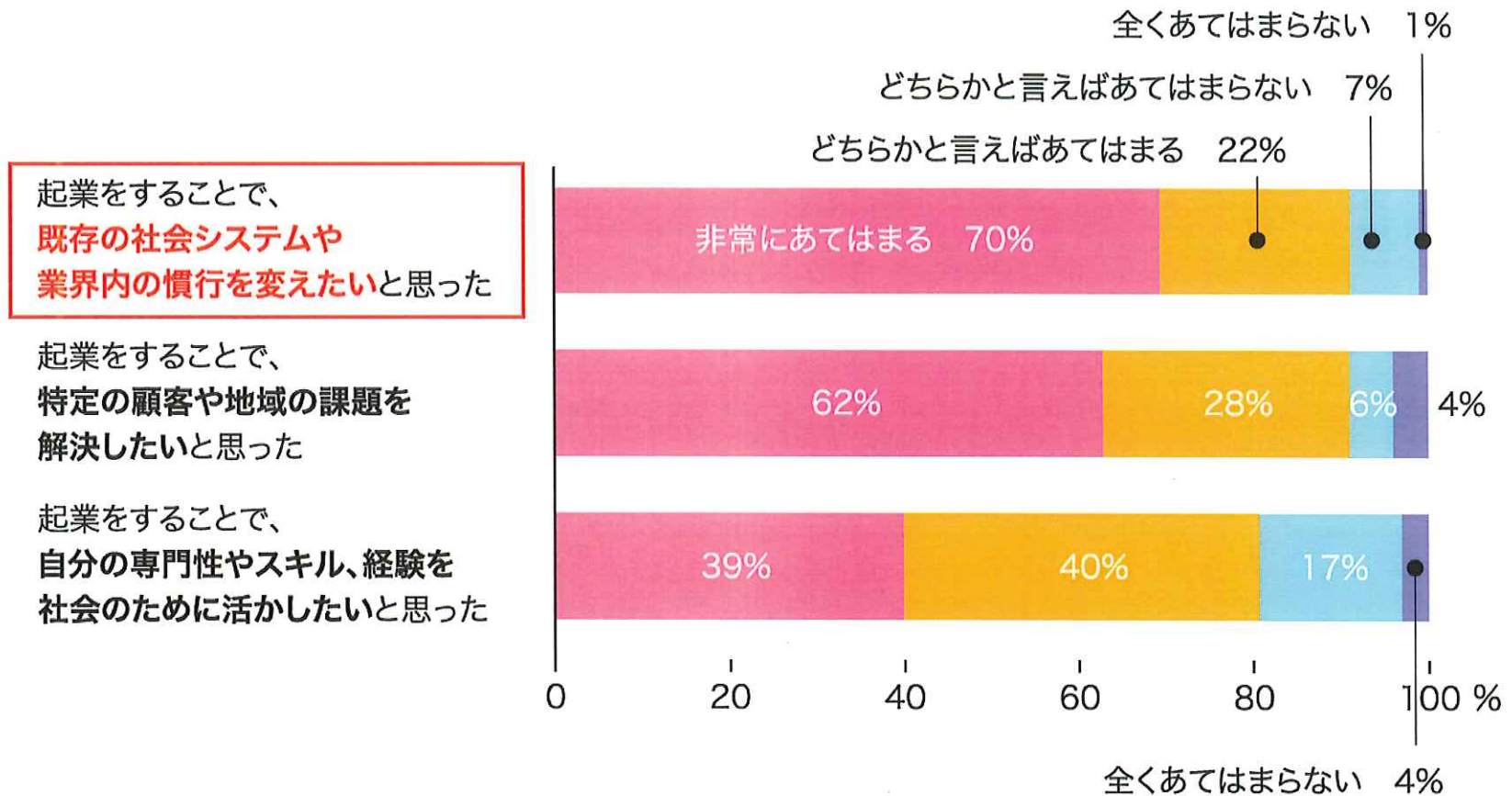
起業の思い① ～原動力は現状への疑問・不満・怒り

Q. 起業という選択に至るうえで、影響を与えたと感じている経験や出来事は？ (上位3位まで自由回答)



出所：ETIC.調べ (2012年), n=95

起業の思い② ～個人だけにとどまらず、社会の仕組みを変えたい



出所：ETIC.調べ（2012年），n=95

事例① NPO法人かものはしプロジェクト

- カンボジアでの児童の人身売買問題をなんとか解決したいと学生時代に起業
- 当初は貧しくて十分に教育を受けられない若者に、職業訓練を提供
- しかし、そのやり方では問題解決には至らないと気付き、事業の方向性を転換
- カンボジアの警察を支援（訓練の提供等）し、摘発が進む → 課題はほぼ解決
- 現在はそのノウハウをインドへと展開

子どもが売られない世界を作るため、寄付・資金・ボランティアの協力をカンボジア・インドを中心に活動する国際NPO かものはしプロジェクト
かものはしプロジェクトは認定NPO法人です。2014年4月1日より、皆さまからの寄付は税控除の対象となります。

技術1会社 English



子どもがだまされて売られないために [▶ かものはしがしている事](#) 30,000円で売られる子どもを救うために [▶ 今すぐ支援する](#)
ご寄付は税控除の対象となります。

メールマガジン限定の情報もあります! [Mail MAGAZINE](#)

おすすめ記事一覧 [▼ 更新順に見る](#)

インド便 12.22 UP  売春宿から救出されても残る「こころの傷」 彼女たちのこころは、どんな状態にあると思いますか?	カンボジア便  NEW 03.02 UP	講演会・イベント情報  NEW 02.26 UP 子どもが売られる問題の深層に迫る活動
--	---	--

[講演会・イベント情報](#) [講演会・イベント情報](#)

子どもが売られる問題とは

かものはしとりくみ



事例② ADDS

- 学生時代に自閉症療育のアルバイトを始めたときの問題意識から、学生団体を立ち上げ「自閉症に効果的な早期集中療育が、日本で広まっていない」
- より多くの人に届ける必要があるが、担い手は不足、公的資金でのカバーも限界
- 最も身近で最大の支援者である「親」に着目 → 彼らを支援者として育てる
- 他の支援団体にもノウハウを提供 → より早く、より多くの人へ！

ADDSは自閉症児を支援する人の“学びの場”です



ADDSについて

保護者の方へ

学生の方へ

支援に関わりたい方へ



ADDSについて

ミッション

ADDSは、自閉症があるお子さんとその保護者の方が、早期の適切な支援によって、可能性を最大限に広げられる社会の実現を目指します。そのために、お子さんの一層の支援者である保護者の方や、未来の社会の担い手である学生、その他たくさんの方々の支援者の“学びの場”であることを大切にします。

ご家庭向け2つのサポートメニュー

保護者研修プログラム「早期療育スタートアッププログラム」

保護者の方が、主体的に家庭での早期療育を運用していけるよう、療育のスタートアップの時期を専門スタッフが集中的にサポートするプログラムです。お子様の可能性を広げるために、保護者が主体となり、家庭で効果的な支援をしたいという方は、是非ご参加をご検討ください。

学生セラピスト紹介サービス

過去のニュース

2016年1月
2015年11月
2015年10月
2015年8月
2015年7月
2015年5月
2015年4月
2014年7月
2014年2月
2014年1月

リンク

お問い合わせ
ブックレーン



学生セラピスト紹介
家庭での療育をお手伝いする
学生を紹介しします



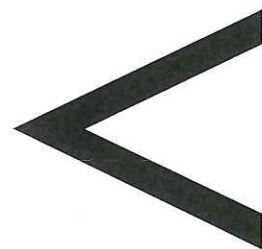
早期療育スタートアップ
プログラム
親御さんの主体的な療育の
スタートを支援します



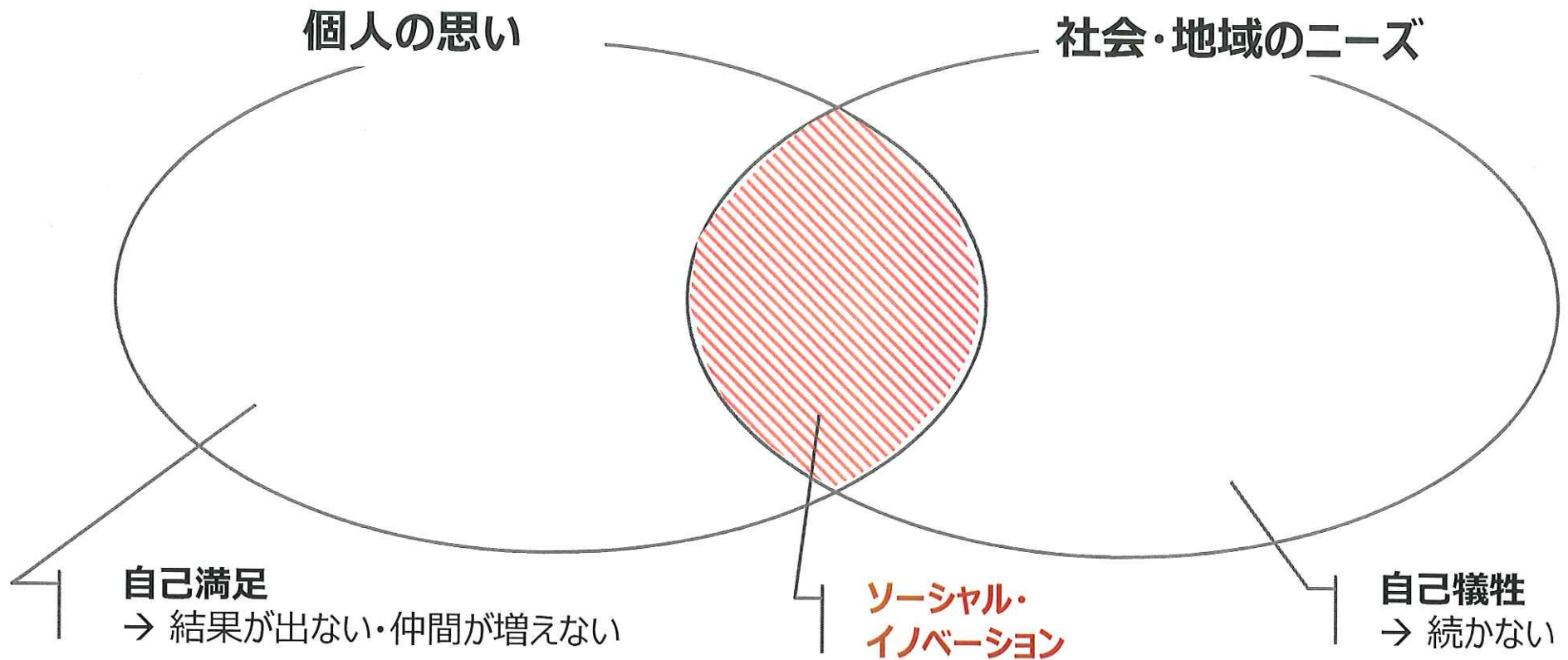
学生セラピストになりたい方へ
ADDS学生セラピスト部
メンバー募集募集中！



共通していること①



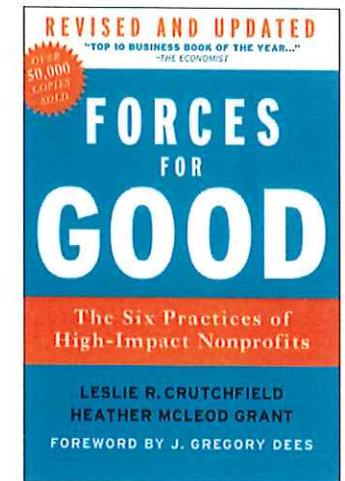
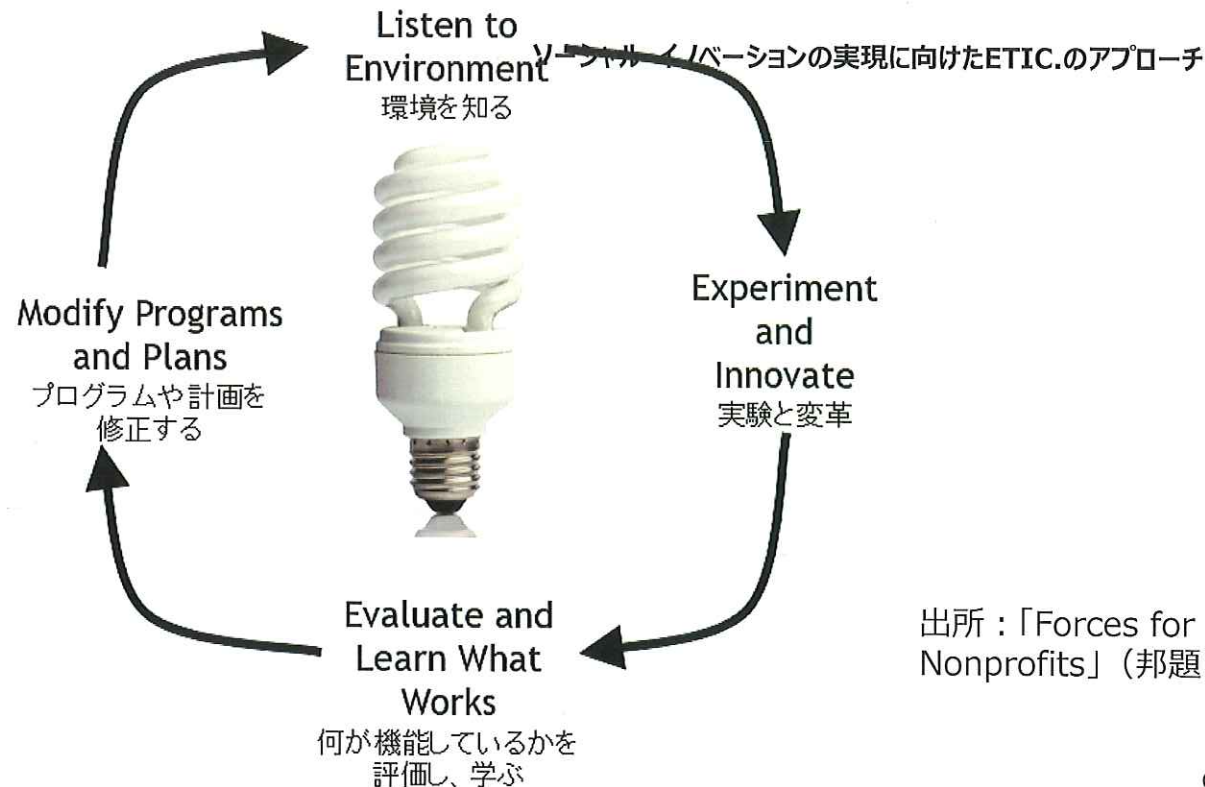
共通していること②



彼らがソーシャル・イノベーションを起こせた理由

- 社会インパクトの拡大（課題解決）に真摯に向き合い、行動と学習を繰り返してきた
 - = 最初から将来の状態を完璧に計画できていた人は居ない
 - 「個人の思い」と「社会・地域のニーズ」の重なりを最初から探すのではなく、動きながら修正！

Master the Art of Adaptation 「適応する」技術を身につける



出所：「Forces for Good - The Six Practices of High-Impact Nonprofits」（邦題：世界を変える偉大なNPOの条件）

ソーシャル・イノベーションの実現 に向けたETIC.のアプローチ

いろいろな活動をしてますが、基本思想は1つ！

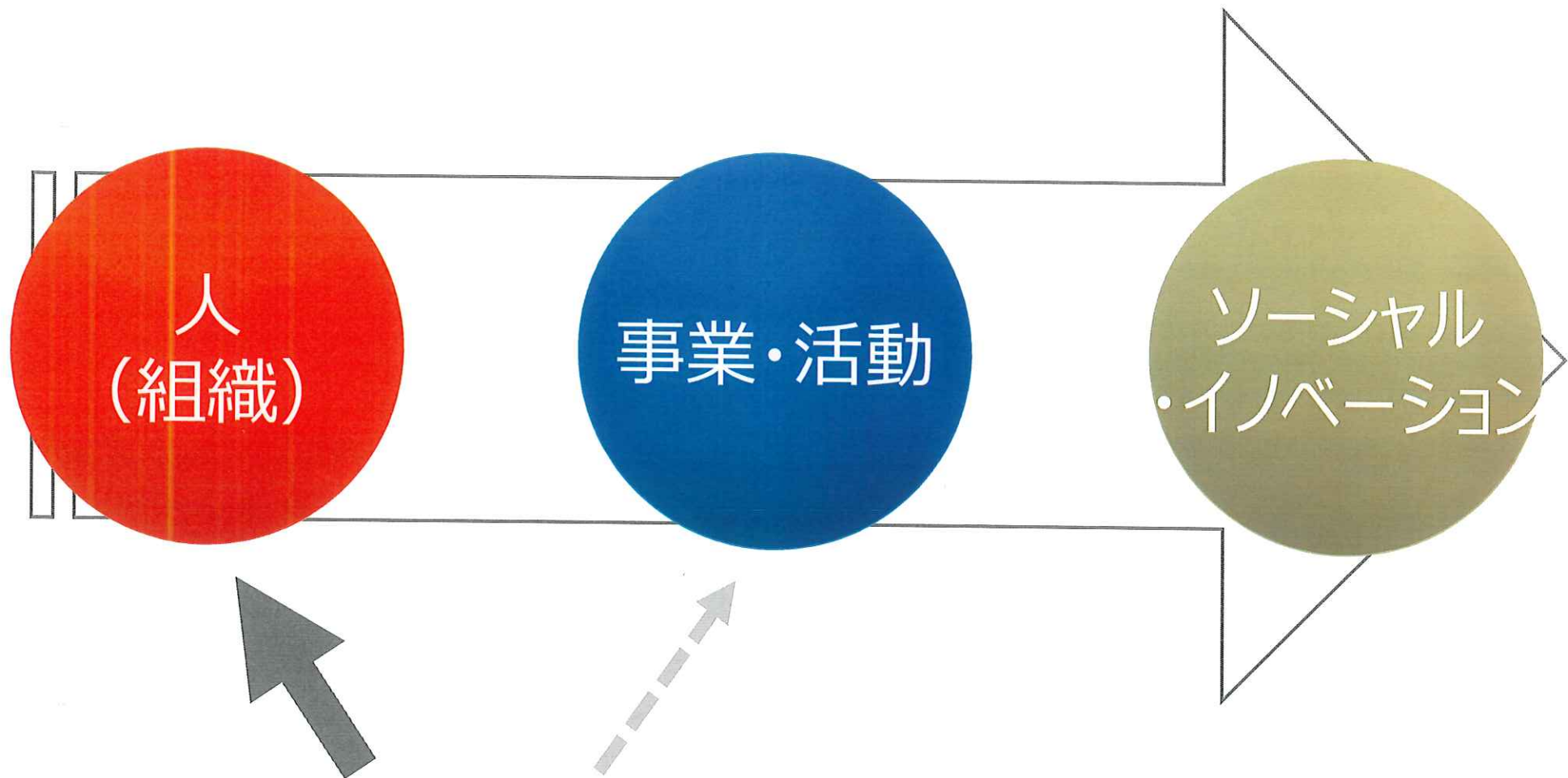
人をつくる

社会をつくる

日本をつくる

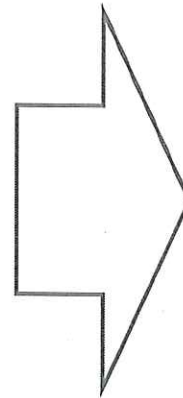


もう少し説明すると...



まとめ：改めて、なぜETIC.は「人材」に着目するのか？

これまでとは
違う変化の早い
社会の到来



ソーシャル・
イノベーションの
担い手である
人材に投資するのが
**最も確実に
効果が高い！**

これまで20年と、これから20年は違う！

日本の人口	1995年	2005年	2015年	2025年	2035年
計(万人)	12557	12776	12659	12065	11212
			→ +0%		▲11%
0~14歳	2001	1752	1582	1324	1128
			▲20%	出生数減?	▲28%
15~64歳(A) (生産人口)	8716	8409	7681	7084	6342
			91%	▲11%	84%(▲8%)
				75%	▲17%
65歳~ 高齢者率	1826 14.5%	2567 20.1%	3395 26.8%	3653 30.3%	3740 33.4%
65~74歳	1110	1451	1750	1478(▲15%)	1495
75歳~ 後期高齢者率	716 5.7%	1160 9.1%	1645 13.0%	2178 18.1%	2245 20.0%
			介入3以上	214	▲11%
				295(▲37%)	→ +3%
85歳~(B)	157	292	511	736	1014
			▲74%	▲251%	▲48%
A=B	55.1人	28.7人	15.0人	9.6人	6.2人

今後10年で、介護37%増・生産人口19%減・出生20%減など、生産性向上は必須!

Master the Art of Adaptation

